

地域づくり・街づくり 2022年度 支援事業

各団体活動記録



社会資本竹林道・放置竹林・竹の径エリアのオーガナイズ

藪の傍

SDGs 国際交流竹林体験（煎茶点前・書道）をはじめ、清掃活動、間伐用竹を活用したメンマ作り等のワークショップやイベントを開催。人為的に人が立ち入ることによって竹林整備を促進し、再生活用を図った。また、多様な人々が竹林を訪れることで竹林への関心が深まった。



環境啓発事業

NPO法人 ひらかた環境ネットワーク会議

市民の環境意識を高め、豊かな自然環境を維持していくことを目的に、環境に関するシンポジウムや施設見学を行う「自然エネルギー学校」、小学校への出前講座を開催した。また、様々な世代を対象にミニ講座を実施し、多くの方々に環境について考える機会を提供した。



平城京の見える化 地域おこし、観光促進としての条坊活用事業

NPO法人 奈良好き人のつどい

平城京の条坊の存在を知ってもらい、その歴史的価値を多くの方々に伝えるために「条坊活用会議」を開催し、冊子を発刊した。また、今も残る条坊について映像配信するとともに、ウォーク講座「下ツ道を歩く」を実施した。



稲穂たなびく景観維持と地域づくりへの取り組み

NPO法人 ひとつもりデザイン研究所

京都嵐山嵯峨野地区の放置竹林等が課題となっていることから、1次産業の活性化を目的とし、1年間を通じてタケノコ堀りや田植え・稲刈り体験等の地域づくりイベントを地元住民や小学校と連携して実施。その体験を通じて、多くの人に風土の価値を知ってもらうことができた。



近畿圏における水害碑発掘とその伝承ネットワークづくり

NPO法人 日本水防災普及センター

近畿各地の水害碑を発掘し、その情報を広く共有・伝承すること、また、水害碑を介した新たな地域づくりのネットワークの形成を目的に、水害碑の資料収集、調査を行った。水害碑等探訪ツアーを4回開催し、参加された多くの方々に関心を深めてもらうことができた。



木の岡ピオトープ（琵琶湖岸ピオトープ）保全活動

おにくるみの学校

木の岡ピオトープの保全のため、草刈りや清掃、不法投棄物回収除去などを実施。毎回約 200ℓのゴミを回収した。地道な活動の継続は結果としており、年4回開催した自然観察会中に確認できた動植物は70種以上となり、希少種も確認することができた。



由良川・里山プロジェクト「光秀堤再生・賑わい創生プロジェクト」

福知山環境会議

荒廃した竹林を整備し、伐採した竹は桜の添え木として活用することで資源の有効活用につなげることができた。また、由良川で SUP 体験会を開催。SUP が行える環境であることを確認し、賑わい創出につながる誘客の手段として有効であることを体感できた。



実習講座とボランティア育成による里山保全事業

NPO法人 里山倶楽部

里山保全活動に参加・定着する人材を育てることを目的とし、1年を通じて森づくりの知識や技術、資源の活用について学ぶ「里山と暮らす応援講座」と、様々な野外作業を体験する「里山ボランティア」を実施した。内容は大変好評で、受講者から3名が継続して活動を行うこととなった。



近畿交流活動

日本風景街道熊野

「日本風景街道 西の鯖街道」と活動紹介を含む意見交換会を行った。地域活性化につながる新たな取り組みや市町村を超えた広域連携の重要性について学ぶことができた。また、「かやぶきの里 北村」を視察。この交流で各々の活動を知ることができ、横のつながりが生まれた。



京都から福井・高浜町を結ぶ自転車街道

西の鯖街道協議会

京と若狭を結ぶ「西の鯖街道」を軸に「サイクルツーリズム」による広域周遊型観光の実現を目指し、各自治体や観光協会・DMOとの調整・体制づくりを行った。ルート選定やマップの作成により、サイクルルートを可視化でき、今後の活動につなげるきっかけとなった。



日本風景街道 新因幡ライン 街道フットパス「水辺の環境を守ろう・街道の資源を知ろう」

NPO法人 奥播磨夢倶楽部

「日本風景街道 新因幡ライン」の魅力を多くの方々に知ってもらうため、地域資源に着目し、「自然観察ウォーク」や「損保川・水辺ウォーク」を開催。参加者の約9割が市外の方で、若い世代の参加も多く、環境や自然に興味、関心を持つ人が多いことが分かった。